京セラ株式会社
本社 広報室　〒612-8501
京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 番地
https://www.kyocera.co.jp

2026 年 11 月 18 日

記者各位

京セラ株式会社

栃木県那須町が電子投開票システム「デジ選®」を採用
栃木県初の電子投票を那須町議会議員選挙で実施

京セラ株式会社（代表取締役社長：作島 史朗、以下：京セラ）は、2027 年 2 月 14 日（日）投開票の栃木県那須町議会議員選挙において、京セラの電子投開票システム「デジ選®」が採用されることとなりましたのでお知らせいたします。栃木県内の選挙で電子投票が導入されるのは、今回が初めてとなります。

本システムの導入により、誤記や判読不能による無効票を防ぎ、有権者の意思を正確に反映するとともに、投票しやすい環境づくりと開票作業の効率化・負担軽減に貢献します。



デジ選使用イメージ

■栃木県那須町での導入について

【導入の背景】

那須町では、町長選挙において、候補者の名字と名前が混在して記載されるなど、有効・無効の判断が難しい「疑問票」が生じ、町と県の選挙管理委員会で判断が分かれたことが課題となりました。こうした経緯を踏まえ、候補者氏名の書き間違いなどによる疑問票を減らし、有権者の意思をより正確に投票結果に反映するため、電子投票を導入します。

【電子投票の啓発活動】

本選挙に向けて有権者を対象に、電子投票の理解促進を目的とした啓発活動を実施します。ホームページ、広報紙による操作方法の周知や、体験会で実際に投票機器に触れてもらうことで、電子機器に不慣れな方の電子投票に対する不安を払拭し、円滑な選挙運営に寄与してまいります。

主な取り組みは、以下のとおりです。
・模擬投票機器を用いた電子投票体験会の開催（11 月～12 月）
・広報紙への掲載（12 月号）
・電子投票啓発チラシの全戸配布（1 月）
・公式ホームページでの情報掲載
https://www.town.nasu.lg.jp/0412/info-0000004570-1.html

■京セラの電子投開票システム「デジ選®」について

デジ選は、総務省の技術的条件に適合した、地方自治体の選挙で利用可能な電子投開票システムです。投票所に設置されたタブレット端末で候補者を選択して投票し、記録された投票データを集計することで、投票のしやすさと開票作業の効率化に貢献します。

【有権者にとってのメリット】

① 自書が困難な方も投票しやすい簡単な操作

紙の投票用紙への記入が不要で、画面上の候補者氏名をタッチする簡単な操作で投票できます。自書が困難な方も投票しやすい環境を提供します。

② 無効票を防ぎ、有権者の意思を正確に反映

候補者氏名を選択する方式のため、誤記や判読不能による無効票を防ぎます。有権者の意思をより正確に反映することができます。

【選挙管理委員会におけるメリット】

① 投票データの確実な記録・保護

ネットワークに接続せず、投票データをタブレット端末に直接接続した記録媒体（USB メモリ／SD カード）に保存します。通信障害や機器の過熱による影響を抑え、安定した投票・開票環境を実現しています。また、端末を鍵付き保護ケースに収納することで、記録媒体の不正な抜き取りなどを防ぎ、投票データを保護します。

② 機器の故障や停電に備えた運用

各タブレット端末が独立して動作するため、1 台に不具合が生じても、該当する端末を交換して対応できます。また、ポータブル電源から給電することで、停電時も投票を継続できます。

③ 開票作業の効率化

投票データを保存した記録媒体を開票用パソコンに接続し、集計します。投票用紙の仕分けや記載内容の判読が不要となり、開票時間の短縮や従事者の負担軽減につながります。

【導入実績】

これまでデジ選は、大阪府四條畷市、宮崎県新富町、香川県善通寺市、福岡県粕屋町、岐阜県美濃加茂市の選挙に導入され、開票人員や開票時間の削減に寄与してきました。

今後も、選挙の信頼性・公平性の確保と、選挙運営の効率化に貢献してまいります。

デジ選

「デジ選®」ロゴ

■電子投開票システム「デジ選®」の詳細はこちら

https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/app-service/app/digi-sen/

※「デジ選」は、京セラ株式会社の登録商標です。

■報道機関からのお問い合わせ
京セラ株式会社　広報室　本社 TEL:075-604-3514(直)/ 東京 TEL:03-6364-5503(直)